



各務原市北清掃センター 個別施設計画

令和3年3月
(令和5年4月一部改訂)
各務原市
(北清掃センター)

目次

1	個別施設計画の背景・目的等	1
	(1) 背景と目的	1
	(2) 個別施設計画の位置付け	1
	(3) 対象施設	2
	(4) 計画期間	4
2	施設の現況	4
3	施設の今後の方針と改修等の優先順位付け	4
	(1) 今後の方針	4
	(2) 改修等の優先順位付け	4
	(3) 目標使用年数	4
4	長寿命化の対策内容と実施時期、対策費用	6
5	個別施設計画推進に向けた取組み	10

1 個別施設計画の背景・目的等

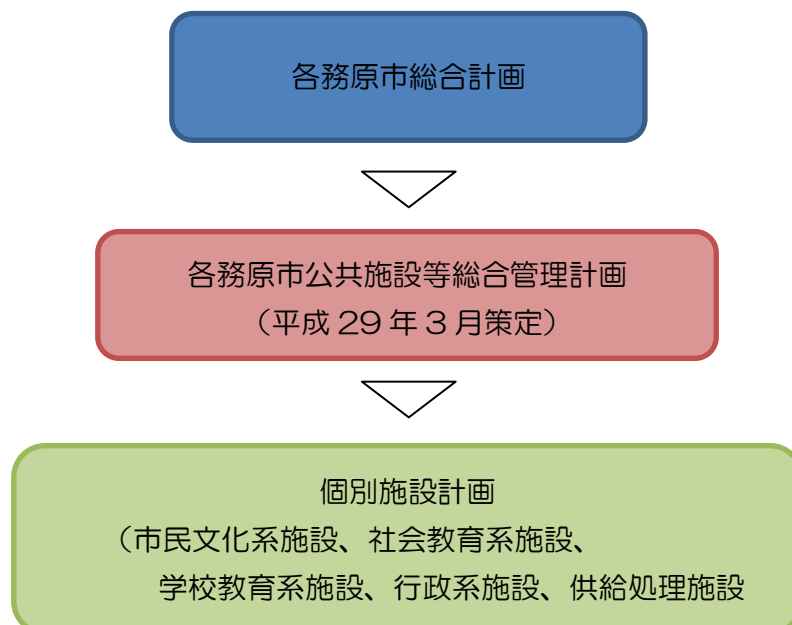
(1) 背景と目的

本市では、高度経済成長期以降の人口増加や行政需要の拡大を背景に、昭和 40 年代半ばから昭和 60 年代にかけ、様々な公共建築物やインフラ資産が集中的に整備されてきました。今後は急速に人口減少や高齢化が進行するだけでなく、これらの公共施設等の老朽化も進み、これから一斉に大規模改修や更新の時期を迎えることになります。

このような背景のもと、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を行うため、所有施設等の現状や施設全体の管理に関する基本的な方針を定め、中期的な取組の方向性を明らかにするとともに、市民の安全・安心を確保し、維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図るための計画として、平成 28 年度に「各務原市公共施設等総合管理計画」を策定しました。この総合管理計画を着実に推進するためには、各施設の特性や維持管理・更新等に係る取組状況を踏まえ、具体的な対応方針を定める必要があるため、各務原市北清掃センター個別施設計画を策定しました。

(2) 個別施設計画の位置付け

個別施設計画は、「各務原市公共施設等総合管理計画」の下位計画として位置づけられ、総合管理計画に記載された施設の具体的な計画となります。また、総合管理計画は市の最上位の計画である「各務原市総合計画」の下位計画として位置づけられています。



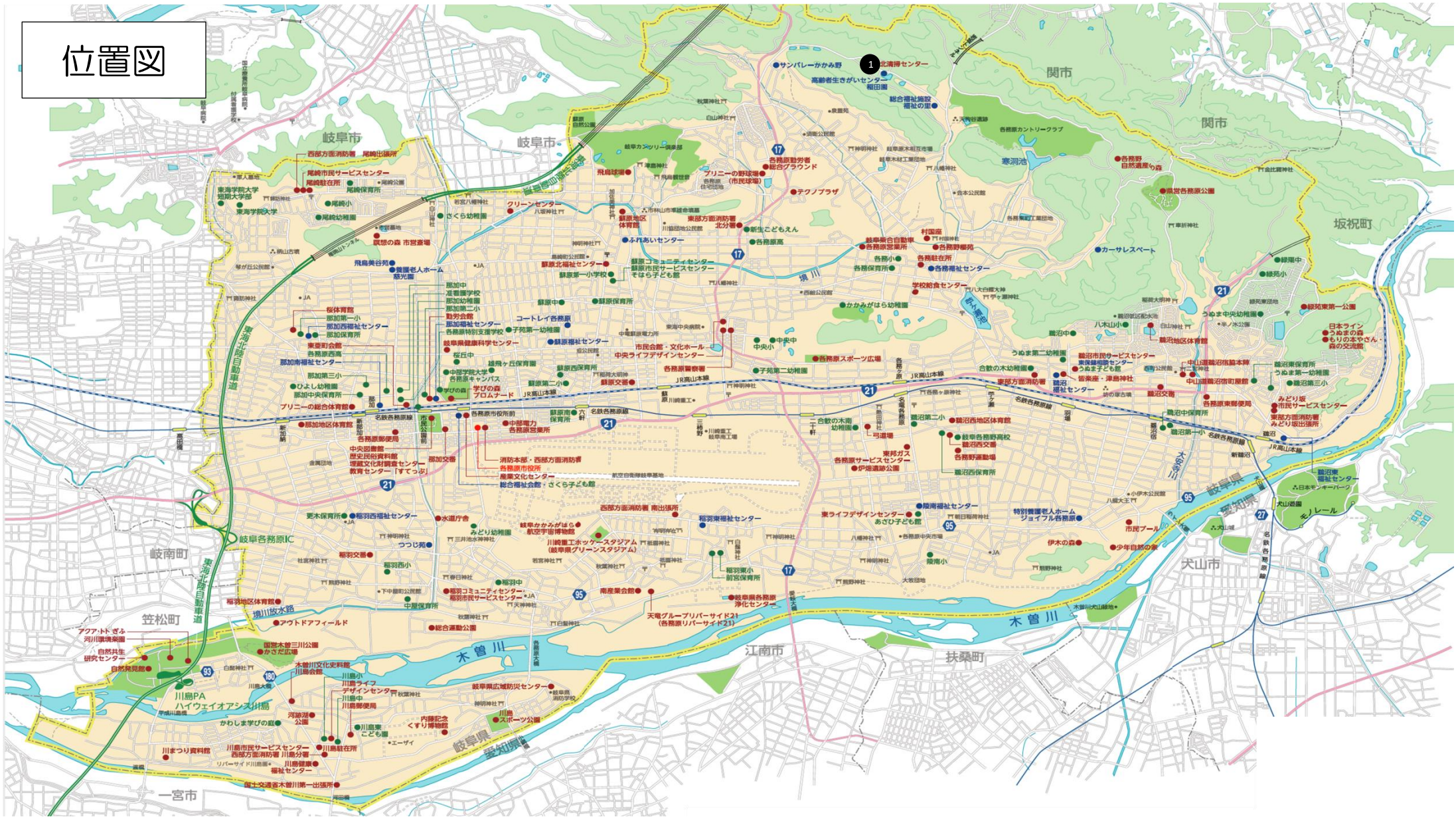
(3) 対象施設

大分類：供給処理施設、中分類：供給処理施設

NO.	施設名称	所在地	建築年度 (西暦)	延床面積 (㎡)	構造 ※	所管課
1	各務原市北清掃センター (溶融炉棟)	須衛 2500 番地 1	2003	11,444.09	SRC	北清掃センター
	各務原市北清掃センター (リサイクル施設)	須衛 2500 番地 1	2012	2,809.07	RC	北清掃センター
	各務原市北清掃センター (ペットボトル処理施設)	須衛 2500 番地 1	2000	374.88	S	北清掃センター
計				14,628.04		

※構造 SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、RC：鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造

位置図



(4) 計画期間

社会情勢の変化や政策動向等によって、公共施設を取り巻く環境や施設の経年劣化、疲労等の状態が時々刻々と変化するため、計画期間は10年間としますが、点検結果やその他の状況を踏まえ、適宜計画を見直します。また、施設を維持していくためには、より長期的な視点が不可欠であるため、40年間の費用を算出しています。

2 施設の現況

保守点検結果や現地調査の結果、施設は概ね適切に管理されており、施設の著しい劣化箇所や設備の損傷は見受けられませんでした。そのため、施設の状況を定期的に観察し、設備や各部位が耐用年数に達した時点で更新を検討していく予定です。

3 施設の今後の方針と改修等の優先順位付け

(1) 今後の方針

公共施設等総合管理計画において、北清掃センターは「市民生活を支える上で欠くことのできない施設であるため、計画的な設備機器の更新と修繕等により、長寿命化を図ります。」との方針が示されています（公共施設等総合管理計画 P35 参照）。

本計画においてもその考え方にに基づき、今後の施設運営を図っていきます。

(2) 改修等の優先順位付け

施設の劣化が著しいものを優先に改修、更新していくこととしますが、劣化状況が同程度の場合は、施設の操業に影響が大きいものを優先します。また、操業が停止した場合、市民生活への影響が大きいことから、必要に応じて予防保全を実施します。

(3) 目標使用年数

施設の目標使用年数は、「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会）を参考にして、以下のように設定します（表 1、2 参照）。

○鉄筋コンクリート造・鉄骨鉄筋コンクリート造・・・65年

溶融炉棟及びリサイクル施設は、その時々地域の状況や他の施設の整備状況等によって、施設機能の見直しや存廃の判断が必要になる可能性が比較的高い施設であるため、「建築物の耐久計画に関する考え方」における目標耐用年数の範囲の中間値を採用し、65年とします。

○鉄骨造・・・50年

鉄骨造は、施設の延命工事が容易でなく延命ができない、あるいは延命工事をしたとしても、長期の延命は望めない可能性もあるため、早めに更新を行うことを視野に入れ、「建築物の耐久計画に関する考え方」における目標耐用年数の範囲の最小値を採用し、50年とします。

ただし、目標使用年数に関わらず、日常の点検結果や老朽化の進行状況等を踏まえ、必要に応じて躯体調査を実施するなどして、更新時期を判断することとします。

表1. 建築物全体の望ましい目標耐用年数の級

用途	鉄筋コンクリート造・ 鉄骨鉄筋コンクリート造		鉄骨造			ブロック造 れんが造	木造
	高品質 の場合	普通品質 の場合	重量鉄骨		軽量鉄骨		
			高品質 の場合	普通品質 の場合			
学校 官庁	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 60 以上
住宅 事務所 病院	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上
店舗 旅館・ ホテル	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上
工場	Y ₀ 40 以上	Y ₀ 25 以上	Y ₀ 40 以上	Y ₀ 25 以上	Y ₀ 25 以上	Y ₀ 25 以上	Y ₀ 25 以上

Y₀〇〇：目標となる耐用年数がある範囲で示した時の「級」を表す。

表2. 目標耐用年数の級の区分の例

級	目標耐用年数	代表値	範囲	下限値
	Y ₀ 100	100年	80 ~ 120年	80年
	Y ₀ 60	60年	50 ~ 80年	50年
	Y ₀ 40	40年	30 ~ 50年	30年
	Y ₀ 25	25年	20 ~ 30年	20年

4 長寿命化の対策内容と実施時期、対策費用

対策費用算出にあたっての前提条件

○修繕や改修を実施することによって、建物の長寿命化を図っていきますが、「3 施設の今後の方針と改修等の優先順位付け (3) 目標使用年数」で設定した目標使用年数が経過した時点で、更新（建替え）をすることとして費用を算出しています。

○更新（建替え）予定年度から遡って 5 年間は、施設や設備の改修を行わないこととします。

○主要構造部（屋根、壁）の改修及び主な設備（空調、給排水衛生設備、中央監視設備、受変電設備、自家発電設備、火災警報設備、昇降設備、受水槽・高架水槽設備）の改修について、それぞれ改修単価及び耐用年数を設定し、概算工事費を算出しています。

○各部位や各設備の改修単価は、実勢価格や過去の工事履歴等を参考に設定していますが、工事実施前には施設の詳細な調査等が必要であり、算出した対策費用と異なる場合があります。

○各部位や各設備の耐用年数は、下表を標準としています。ただし、対策費用の平準化や改修時期の調整等により、これによらない場合があります。

種 別	耐 用 年 数	種 別	耐 用 年 数
屋上防水（塩ビ）	20 年	屋根（塗装）	7 年
外壁（塗装・建具シーリング含む）	15 年	空調（中央式）	20 年
空調（個別式）	15 年	給排水衛生設備	25 年
中央監視設備	15 年	受変電設備	25 年
自家発電設備	25 年	火災警報設備	15 年
昇降設備	30 年	受水槽・高架水槽設備	15 年

○概算工事費には、工事費のほか設計委託料、監理委託料を含みます。

○維持補修費用（施設を維持するために要する例年の修繕料）や保守点検費用（設備等を正常な状態に保つために要する定期点検費用）は、1 施設あたり 1,000 千円以上の場合のみ計上します。

○施設自体を維持するために要する費用以外の業務委託料（指定管理料、清掃、除草等）は計上していません。

○本計画では建物に関する費用のみ算出しており、プラントに関する費用については、各務原市北清掃センター長寿命化総合計画、各務原市北清掃センターリサイクル施設長寿命化総合計画、各務原市北清掃センター施設維持補修計画で算出しています。

各施設毎の長寿命化に係る対策内容と実施時期、費用は次頁以降の通りです。ただし、対策の実施時期、内容は財政状況や政策動向等によって変更する可能性があります。

今後 40 年間に於ける各務原市北清掃センターの建物に関する対策費用の合計は 2,113,724 千円となります。

【対策費用算定表】(総括表)

計画期間	計画期間中に要する費用	1年あたり費用
40年	2,113,724千円	52,843千円

(単位:千円)

	建築年度(西暦)	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	合計
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32	R33	R34	R35	R36	R37	R38	R39	R40	R41	
溶融炉棟	2003	12,695	12,770	12,770	12,770	12,770	234,228	12,770	100,170	67,770	31,428	12,770	28,770	18,770	21,428	12,770	96,770	12,770	29,628	12,770	12,770	12,770	29,428	20,770	97,970	12,770	21,428	44,570	20,970	144,770	44,428	91,770	20,770	12,770	31,428	22,770	32,770	12,770	29,628	91,970	12,770	1,578,647
リサイクル施設	2012	1,382	1,242	1,242	1,242	1,242	1,242	7,242	42,242	1,242	1,242	1,242	1,242	5,242	7,242	1,242	1,242	1,242	1,242	1,242	7,242	1,242	11,242	32,242	1,242	1,242	1,242	7,242	1,242	1,242	1,242	5,242	1,242	7,242	1,242	1,242	1,242	71,242	32,242	1,242	380,320	
ペットボトル処理施設	2000									2,200	5,500						7,700							2,200																2,200		154,757
合計		14,077	14,012	14,012	14,012	14,012	235,470	20,012	142,412	71,212	32,670	19,512	30,012	24,012	28,670	14,012	105,712	14,012	140,370	14,012	14,012	20,012	30,670	34,212	130,212	14,012	22,670	45,812	28,212	146,012	45,670	227,969	22,012	18,012	32,670	30,012	34,012	14,012	103,070	124,212	14,012	2,113,724

【対策費用算定表】

施設番号	1
施設名	北清掃センター(溶融炉棟)
担当部課	市民生活部環境室北清掃センター

建築年度	2003
構造	SRC
法定耐用年数	50年(2053)
目標使用年数	65年(2068)

計画期間	計画期間中に要する費用	1年あたり費用
40年	1,578,647千円	39,466千円

(単位:千円)

	耐用年数	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	合計				
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32	R33	R34	R35	R36	R37	R38	R39	R40	R41					
屋上防水	20						31,800																					31,800																63,600		
屋根(塗装)	7								8,200										8,200											8,200										8,200					32,800	
外壁(塗装)	15								79,200																79,200																79,200				237,600	
空調(中央式)	20						130,000																							132,000														262,000		
空調(個別式)	15						8,000						8,000	6,000									8,000	8,000	6,000																		44,000			
給排水衛生設備	25									10,000	10,000																									10,000	10,000							40,000		
中央監視設備(建築設備のみ)	15						20,000																																					20,000	40,000	
受変電設備	25																																												79,000	
自家発電設備	25																	84,000																											84,000	
火災警報設備	15						23,000																																						23,000	46,000
昇降設備	30										45,000																																			45,000
受水槽・高架水槽設備	15													8,000																															8,000	16,000
保守点検費用		12,695	12,770	12,770	12,770	12,770	21,428	12,770	12,770	12,770	21,428	12,770	12,770	12,770	21,428	12,770	12,770	12,770	21,428	12,770	12,770	12,770	21,428	12,770	12,770	12,770	21,428	12,770	12,770	12,770	21,428	12,770	12,770	12,770	21,428	12,770	12,770	12,770	21,428	12,770	12,770	12,770	21,428	12,770	588,647	
合計		12,695	12,770	12,770	12,770	12,770	234,228	12,770	100,170	67,770	31,428	12,770	28,770	18,770	21,428	12,770	96,770	12,770	29,628	12,770	12,770	12,770	29,428	20,770	97,970	12,770	21,428	44,570	20,970	144,770	44,428	91,770	20,770	12,770	31,428	22,770	32,770	12,770	29,628	91,970	12,770	1,578,647				

5 個別施設計画推進に向けた取組み

○関係所管課との連携

公共施設マネジメントは施設所管課が単独でできるものではないため、今後、施設の点検結果に基づく対策への助言など、庁内で横断的な連携を図り、計画の推進に向けて取り組んでいきます。

○点検体制の構築

施設の適切な管理を推進するため、日常的な管理・点検のほか、法定点検を確実に実施するとともに、これらの点検から得られた結果や各種点検結果のデータを整理し、施設の情報の蓄積を積極的に行っていくこととします。

○進捗管理の徹底

本計画の進捗確認のため、個別施設毎の施設状態や、計画に基づく実施状況を継続的に把握することとします。また、対策の進捗状況を踏まえ、計画期間内であっても、社会情勢や政策動向等、市民のニーズの変化に対応し、適宜、計画内容の見直しを行います。見直しの際には、本市の最上位計画である総合計画や上位計画である総合管理計画との整合性を確保した上で適切に行うこととします。